



# 第16回 運営推進会議

令和8年2月19日(木)

13 : 30 ~ 14 : 15

デイサービス山風木



デイサービス山風木

# 本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。



地域の方々



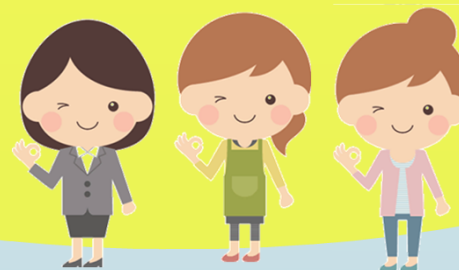
利用者様、ご家族



旧三島地区(加屋町)



デイサービス山風木



三島市(包括)、有識者

定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。



# デイサービス山風木【事業所情報】

## 【事業所情報】

平成30年3月1日(令和6年3月1日認可更新)

地域密着型サービス 認知症対応型通所介護(要介護、要支援)  
認知症の方へのサービスを提供する事業所として認可・開所

1日のご利用定員 … 12名

サービス提供時間 … 9:15～16:30

〒411-0845

静岡県三島市加屋町10-1

TEL:055-941-6985

FAX:055-941-6986

<https://www.com-work.jp/yama/>

## 【姉妹事業所】

デイサービス井福来／デイサービス若芝  
居宅介護支援事業所いぶき(ケアマネ)

# 関係事業所のご紹介



## 【関係事業所】

令和6年6月1日認可

- ★ デイサービス井福来 / 居宅介護支援事業所いぶき (ケアマネージャーが常駐)
    - 本部機能も担っております
    - 定員12名の認知症対応型デイサービス
    - ケアマネージャー4人体制で (主任ケアマネが3名)
- ※ R7.12月に三島市の運営指導がありました。指摘事項なし



平成24年1月1日 (令和6年1月1日更新)

- ★ デイサービス若芝 (地域密着型通所介護)
  - 芝本町 (商店街) という環境は生活感を強く感じられます。
  - 認知症ケアの専門集団を目指して頑張っています。

平成30年3月1日 (令和6年3月1日更新)

- ★ デイサービス山風木 (認知症対応型通所介護)
  - 認知症の利用者様に特化した事業所
  - 定員12名





# デイサービス山風木【運営状況】

## <ご利用実績>

ご登録人数:34名

◆1月のご利用実績

平均稼働率=89%

※利用終了の方もいらして少し寂しい日もございました。

## <ご利用日の状況>

月	火	水	木	金	土
11名	12名	12名	11名	11名	12名

＝認知症専門のデイサービス＝  
認知症の利用者様は時間の経過にあわせて少しずつ変化していきます。利用者様の変化を見落とさないようにしっかり向き合いながら専門職として個々の対応を取り組んでいきます。

介護度	人数
要支援 1	1名
要支援 2	0名
要介護 1	20名
要介護 2	8名
要介護 3	3名
要介護 4	2名
要介護 5	0名



# 組織としての活動

よりレベルアップを！

近隣事業所(若芝)との各種共有による質の向上取り組み中！

活動や事業所内環境の見直し中！

5 S活動への取り組み中！

## ■体制 人手不足はどこも同じですが、人材確保・育成の取組み実施

	デイサービス井福来	デイサービス若芝	デイサービス山風木
相談員	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名
介護職	専任4名、兼務者1名	専任3名、兼務者1名	専任4名、兼務者1名
看護師	1名	1名	1名
ケアマネージャー	専任3名、兼務者2名	—	—

国家資格(介護福祉士)⇒取得支援！ ※介護職の国家資格保有率90%

認知症対応型サービスとしてレベルアップを模索していきます！

## 活動

認知症ケアとして

味噌づくり 園芸活動 林光寺散策 庭そうじ 個別活動

外出

初詣、清澄緑地散策、お花見の準備(おすすめスポット教えてください)

イベント

47都道府県銘菓企画、いろは喫茶スタート！、各種季節行事

情報発信

ブログによる活動発信、ケアマネさんなどへの情報発信

スタッフ育成・採用強化

各種研修 個々のステップアップ 新人採用

ICT化、設備の更新

PC、タブレットなどのIT機器の増設・交換、AI活用への取り組み

# 新しい認知症観



=これまで（～2025年）=

たくさんの方が認知症になる！大変だ！みんなあらかじめ心の準備を！  
という啓蒙活動をしながら支援体制の構築を進めてきました。

【結果】世の中の多くの方が認知症という病を知ってくれた

=これから（2025年～）=

認知症基本法（認知症基本計画）

もっと正しく認知症を理解してもらおう！

学校教育／社会教育／専門職養成／認知症の方からの発信

## ＜新しい認知症観＞

「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

=> もちろんご家族(支援者)も同様に自分らしく暮らし続けることができる

# 認知症(BPSD)と向かい合う



＜忘れてしまう！の先にあるのは個性です＞

認知症という病で忘れてしまうことがあっても、その結果として不安になる！外に出かけたくなる！思い出したように怒り出す！etc というような行動は、その方の人生観や個性が要因になることが多いです。

## 取り組む姿勢

大人数での空間が苦手な方

和室などを活用して小集団で落ち着ける時間を作る

仕事ひとすじで生きてこられた方

時間が空くと居心地がわるくなってしまうので、何かをしている充実感を感じられるように役割や日課を持っていただく

学校の先生、お花の先生などをされてきた方

一緒にいる人たちに少しでも上手になってもらいたい。教えてあげたいという気持ちに応えながら、教えてあげるといふ誇りも感じてもらう

体が弱かったりして悲しい記憶が強く残ってしまっている方

悲しかった出来事への共感をしつつ、今そこにある喜び・楽しみも一緒に共有して共に喜ぶ

家族をととても大事にされてきた方

ご家族の名前なども共有させてもらい、家族の思い出をたくさん話してもらおう。一方で家族の心配をせずに安心してもらうようなアプローチもする



# 山風木の目指すところ

- ご自宅での様々な課題  
利用者様・ご家族の生活をご支援するために  
事業所の中だけに留まらず全体観を持って関わる
- 認知症についての学びを深める  
それぞれの利用者様の困りごとに対応する  
力を職員一丸となつて高めていく
- ケアマネジャーその他関係職種と連携  
山風木での気づきを積極的に発信し、  
チームで関わっていく。